

研究 I 講演会

- 1 日時 令和2年12月7日(月) 6, 7限目
- 2 場所 本校 1学年教室、プラタナスホール
- 3 講師 飛田 英孝 氏 (福井大学工学部工学研究科 教授)
- 4 演題 『学ぶこと、生きること:つながりの視点から考える』
- 5 対象 本校1学年



6 参加生徒の感想

- 私は今まで、何のために勉強しているのか、数学や化学などは将来何の役に立つのかが分かりませんでした。でも、勉強というのは、学ぼうとする姿勢や、学んだことと今までの知識をつなぎ合わせて理解することが大切だということが分かりました。今回学んだ「勉強しているのは、自由をうまく扱えるようになるため」という考えが、私の中でつながりとても納得しました。
- 人間は物事に対して1つの視点からしか見ていないが、あらゆる角度から見ることで、感じ方が180度大きく変わることを感じました。自分の勉強は問いを立てて学べておらず、目の前の課題を無意識に行っているだけなので、今後自分全体を「変化」させていきたいです。
- 「家族も社会も会社もそれぞれの人が少しずつ『やりすぎる』ことにより成立している」という言葉がとても印象的でした。家族にも言われますが、「勉強があるから」「疲れているから」などという理由をつけて見返りや平等性を求めるのではなく、人が喜んでくれることを願って行動できる人になりたいです。
- 今回の講演会を通して、今の学習がどれほど大切かということを改めて感じました。なぜなら、「思考停止したまま社会とかかわることは罪である」と言われて納得したからです。また、私はもっと思考の枠組みを拓けるべきだと感じました。これからは読書を増やして、他人の考え方を覗いていきたいです。